

生駒北小中学校だより

令和5年度 11月号

「天高く馬肥ゆる秋」の言葉通り、澄み渡った気持ちの良い青空が、登校してくる子どもたちを出迎えています。校門前で立哨指導をしていると、「おはようございます。」と、自分から元気に挨拶をする子どももいれば、こちらの呼びかけにうつむき加減でお辞儀をして返す子どももいます。中にはこちらから挨拶をしても、反応がないという子どももいます。挨拶は、他者とのコミュニケーション力を形成する第1歩です。「おはようございます。」の一言を発するのにとっても勇気がいる、という子もいる事でしょう。元気よく挨拶することが無理だとしても、挨拶をしてくれた相手の自分を気遣う気持ちを感じとり、挨拶をしてくれた相手に対して感謝する気持ちはもたせたいものです。せめて、相手の眼を見て会釈するなどのアイコンタクトが取れるようになってほしいと思います。本校では、登校時に保護者や地域の方が、校門前をはじめとして各場所で見守りとあいさつ運動を実施して下さっています。自分たちのためにたくさんの方々が働いてくださっているということを改めて児童に伝え、子どもたちが感謝の気持ちをもって挨拶ができるように指導していきたいと思います。

健康面では問題がないにも関わらず、朝から元気がない子どもの中には、スマホやタブレットなどを長時間利用したために就寝時刻が遅くなり、生活習慣が乱れてしまったという子どももいるかもしれません。ご家庭でも今一度、これらの情報機器との向き合い方についてお子さんと話し合っただき、利用に際してのルール作りや、その見直しを図っていただければと思います。よろしく願いいたします。

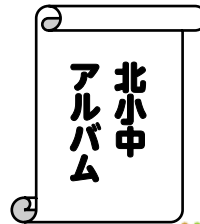
「校内ビブリオバトル」開催！

10/5(木)に、中学校で校内ビブリオバトルが開催されました。校内ビブリオバトルは、まず各クラスでビブリオバトルが行われ、各クラスの代表2名がバトラーとして、お薦めの本を全校生徒に向けて5分間で紹介しました。どのバトラーも、自分のお薦めの本の良さをわかってもらおうと、趣向を凝らしてプレゼンを行っていました。また、質問タイムでは、紹介された本をより深く知ろうと、参加者から質問が寄せられました。その後、投票が行われ、飯尾七彩さんの「方舟」と藤岡俊介さんの「バカの壁」が、チャンプ本、2位の本に選ばれました。二人は、12月の生駒市ビブリオバトル中学生大会に、バトラーとして出場します。



秋の社会見学

小学生が、秋の社会見学及び遠足に出かけました。いずれもお天気に恵まれ、どの学年も無事に全行程を終えることができました。お家の方には朝からお弁当の準備をしていただき、ありがとうございました。6年生は11/1、2に、白浜方面へ修学旅行に行きます。



中学3年生が、たかやまこども園に保育実習に行きました



1・2年生 キッズプラザ大阪



3・4年生 生駒市役所 生駒山上遊園地



5年生 ダイハツ京都工場 カップヌードルミュージアム

R5中間 全校児童アンケート

全校			肯定意見 (%)	否定意見 (%)
分類	番号	項目		
学習	1-①	思考力・判断力の育成	83	17
	1-②	表現力の育成	75	25
	1-③	適切な時間での家庭学習の定着	68	32
	1-④	伝統文化にふれる学習の推進	72	28
	1-⑤	ICTを活用した学習の推進	78	22
	1-⑥	読書習慣の確立	51	49
	1-⑦	外国語活動・外国語教育の推進	86	14
生活	2-①	きまりや約束・規則の順守	91	9
	2-②	丁寧な言葉遣い	83	17
	2-③	いじめを許さない態度	83	17
	2-④	年下への思いやり	78	22
	2-⑤	自他尊重精神の醸成	87	13
	2-⑥	情報モラル教育	84	16
安健全康	3-①	外遊びの習慣化	67	33
	3-②	適切な食習慣	88	13
	3-③	授業中の運動量の確保	92	8
学校	4-①	楽しい学校生活	91	9
	4-②	充実した学校生活	90	10

学校評価の中間評価として9月に小学校児童にアンケートを取り、結果が集計されました。「学習」「生活」「健康・安全」「学校」の4つの分類でアンケートを実施し、児童にはタブレットを用いて、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の4選択で回答してもらいました。その結果、「外国語活動・外国語教育の推進」「きまりや約束・規則の順守」「自他尊重精神の醸成」「適切な食習慣」「授業中の運動量の確保」「楽しい学校生活」「充実した学校生活」といった7つの項目では、肯定的意見の割合が85%以上の高い達成率が見られました。その一方で、「適切な時間での家庭学習の定着」「読書習慣の確立」「外遊びの習慣化」の5項目は否定的意見の割合が高く、今後、改善が必要であるという結果が見られました。「読書習慣の確立」は全質問項目の中でも圧倒的に達成率が低く、早急な改善が必要であるといえます。読書習慣の獲得は、想像力といった非認知能力の向上に大変有効です。小学校では図書時間を確保し、学校司書によるブックトークや読み聞かせ、読書ボランティアによる低学年児童への読み聞かせ等、児童が読書に興味関心を持てるように取組を行っていますが、家庭での読書習慣の定着までは至っていませんでした。家庭学習に読書を組み入れたり、ご家庭に親子読書を勧めたりするなど、工夫して取組を進めていきたいです。「適切な時間での家庭学習の定着」については、1年生から3年生までは達成率が9割を超えているのに対し、4、5、6年生では急に達成率が下がっていました。家庭学習の習慣を身に付けておくことは、児童が上級学校へ進学した際に必要不可欠なことです。北小では、1学期に「家庭学習の手引き」をお渡ししています。そちらをご活用いただき、学年×10分+10分の時間は家庭学習に取り組むように、ご家庭でも子どもたちへの働きかけをよろしくお願いいたします。